

平成29年3月16日

ウメ輪紋ウイルス(プラムポックスウイルス)についての情報提供のお願い

岐阜県病害虫防除所

ウメ輪紋ウイルス(プラムポックスウイルス)は、ウメ、スモモ、モモ、アンズ、ユスラウメなどに感染し重大な被害を与える植物ウイルスです。

このウイルスに感染すると、葉に退緑斑点や輪紋(図1、2、3)が生じ、モモやスモモでは、その他果実の表面に斑紋が現れ、商品価値が失われたり、成熟前の落果により減収するとの報告があります。

本病は、平成21年に東京都青梅市のウメで国内初の感染が確認され、県内では平成27年度に観賞用ウメで発生が初確認されました。また、平成28年度の調査において、各務原市で新たな発生地域が確認され、市内の一部地域が植物防疫法に基づく緊急防除区域に指定されました。

ウメ、スモモ、モモ等で感染の疑わしい症状を見つけた場合は、病害虫防除所まで連絡をお願いします。

なお、このウイルスは人や動物に感染することは無く、果実を食べても健康に影響はありません。

連絡先

岐阜県病害虫防除所

岐阜県岐阜市又丸729-1 農業技術センター内

電話 058-239-3161 ファックス 058-234-0767

岐阜県病害虫防除所飛騨支所

岐阜県高山市上岡本町7-468 飛騨総合庁舎内

電話 0577-33-1111 (代表) ファックス 0577-34-2706

ウメ輪紋ウイルスについて詳しくは「農林水産省 HP ウメ輪紋ウイルスに感染した植物に関する情報提供のお願い」を参照願います。(外部リンク)

http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/ppv/ppv_information.html



図1、2 感染したウメの葉の症状（葉にドーナツ状の輪ができる）



図3 感染したモモの葉の症状（葉脈に沿って緑色の薄い部分ができる）
画像は農林水産省植物防疫所より